



駒林小 学校便り

令和3年度
6月号
5月31日発行

あいさつ

副校長 柏木 次郎

今年度から駒林小学校に副校長として着任しました柏木 次郎と申します。初めての学校で不安もありましたが、子どもたちに会うのを楽しみにやって来ました。早くみなさんに顔を覚えてもらえるようたくさん関わって行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

今年度が始まり、早くも2ヶ月が経ちました。校舎を巡回していたり、門の前に立っていたりすると子どもたちの元気な声を聞くことができます。「おはようございます。」「そうじ、頑張ってます。」「あれ、副校長先生、黙っていると怖そうだけど、しゃべるとそうでもないね。」等々。明るい笑顔に溢れ、元気いっぱい姿をたくさん見ることができました。

駒林小学校の3つの柱「あいさつ」「音楽」「たてわり」の一つである「あいさつ」の素敵な場面をたくさん見ることができました。多くの子は、大きい声を出してあいさつをしてくれます。そんな中、私の顔をじっと見て通り過ぎていく子、にこっと微笑む子、こちらに気が付かないふりをして一瞬だけ目を合わす子など様々なあいさつをしてくれます。それでいいんです。小学校であいさつと言うと、ついつい、みんなで！大きな声で！合わせて！と思ってしまうがちですが、そうでなくても相手に伝わる場面はたくさんあります。もし、自分はあいさつが苦手だと思っている人がいたら、まず自分なりのやり方でやってみてください。みんなとやり方が違うから駄目ということはありません。気持ちは相手に必ず伝わります。そうやって続けていくと、だんだんと相手により伝わりやすい形に変化していきます。相手が気持ちよくなると自分も気持ちよくなるものです。あまり意識せず、「やらなければいけない。」ではなく、「自分なりのやり方でやってみようかな。」を大切に、駒林小学校の「あいさつ」をより素敵なものにみんなですていしましょう。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校の予定が急に変更になるときには、メール配信やホームページでもお伝えしますので、ご承知おきください。